

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成29年6月13日

計画の名称	美濃加茂市の安全な住環境の整備推進計画							交付対象	美濃加茂市				
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）												
計画の目標	安全、安心、快適なまちづくりと循環型社会の構築、公共用水域の水質保全を図ります。												
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道による都市浸水対策の達成率を42%（H23）から47%（H27）に増加させる。 ②下水道整備率を70%（H23）から74%（H27）に増加させる。 ③下水道汚泥の資源利用計画策定率を0%（H23）から100%（H26）にする。 ④雨水ポンプ場施設の更新率を26%（H23）から66%（H27）に増加させる。												
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考				
						当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)					
①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）						42%	47%	47%					
②下水道整備率 整備済み面積（ha）／全体計画面積（ha）						70%	74%	74%					
③下水道汚泥の資源利用計画の策定 策定済処理場（箇所）／処理場（箇所）						0%	0%	100%					
④雨水ポンプ場施設更新率 更新済項目数（項目）／更新項目数（項目）						26%	60%	66%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	824百万円 342百万円	A	824百万円 342百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%			
上段：計画 下段：実績													
事後評価													
○事後評価の実施体制、実施時期													
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期								
美濃加茂市上下水道課内において実施					平成29年6月								
					公表の方法								
					市ホームページにて公表								
1. 交付対象事業の進捗状況													
交付対象事業													
A1 下水道事業													
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度） H23 H24 H25 H26 H27	全体事業費 (百万円)	備考
1. 木曽川右岸処理区													
1-A1-1	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	雨水	新設	本郷雨水幹線（浸水対策）	φ800～1,000mm, U450 L=828m φ800～1,000mm, φ450 L=699.2m	美濃加茂市		67 87	
1-A1-2	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	雨水	改築	雨水ポンプ場施設更新	ポンプ施設更新	美濃加茂市		128 117	
1-A1-3	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	雨水	新設	雨水ポンプ場施設長寿命化計画策定	調査・計画	美濃加茂市		10 5	長寿命
2. 蜂屋川処理区（加茂野・今泉排水区）													
A1-2-1	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	雨水	改築	加茂野雨水幹線（浸水対策）	□1500*2000, 1800*1800L=612m □600*600, H P φ600L=308.4m	美濃加茂市		47 56	
A1-2-2	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	雨水	改築	今泉雨水幹線（浸水対策）	U1500*1875 L=70m □1500*1800 L=15.3m	美濃加茂市		114 17	
3. 蜂屋川処理区													
A1-3-1	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	汚水	新設	中蜂屋地区面整備（未普及解消）	φ200 L=4,300m φ200 L=3,348.9m	美濃加茂市		27 60	
A1-3-2	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	汚泥処理	新設	新世代下水道（資源循環）	調査・検討・施設整備	美濃加茂市		431 0	新世代
小計（下水道事業）											824 342		
B 関連社会資本整備事業													
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23 H24 H25 H26 H27	全体事業費 (百万円)	備考	
合計													
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考		

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道による都市浸水対策率が45%となった。加茂野地区を重点的に整備をし、家屋の浸水被害の軽減に寄与した。 ・下水道普及率の向上により、道路側溝等での悪臭による苦情が減少した。 ・機器等の更新により、突発的な操作不全を防ぎ、健全な機械操作ができる。 								
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道による都市浸水対策達成率	最終目標値	47%	目標値と実績値に差が出た要因	一部地域において、函渠の施行位置などに関する地元調整に不測の時間を要したことにより、事業の進捗が遅れ目標達成とならなかった。					
		最終実績値	44%							
	指標② 下水道整備率	最終目標値	74%	目標値と実績値に差が出た要因	コスト縮減や効率的な事業実施により、当初計画よりも管渠整備が進み目標達成となった。					
		最終実績値	76%							
	指標③ 下水道汚泥の資源利用計画の策定	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	汚泥処分費の削減と城内処理を目的とし「燃料焼却システム」の導入に向け実証実験まで実施したものの、汚泥の焼却処理について住民の理解(同意)を得ることが出来なかった。このため「燃料焼却システム」導入の事業実施の中止を決定した。今後は汚泥排出量の削減などにより処分費の低減を進めるべく、新たな方法を研究していく。					
		最終実績値	0%							
	指標④ 雨水ポンプ場施設更新率	最終目標値	66%	目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値	66%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
3. 特記事項(今後の方針等)										
<ul style="list-style-type: none"> ・都市浸水対策事業、下水道整備事業、既存施設の改築・更新事業については、次期計画においても継続的に各事業を進め、安全な住環境の整備に努めます。 										